

ぎふ感染症かわら版

平成 28 年 11 月 24 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



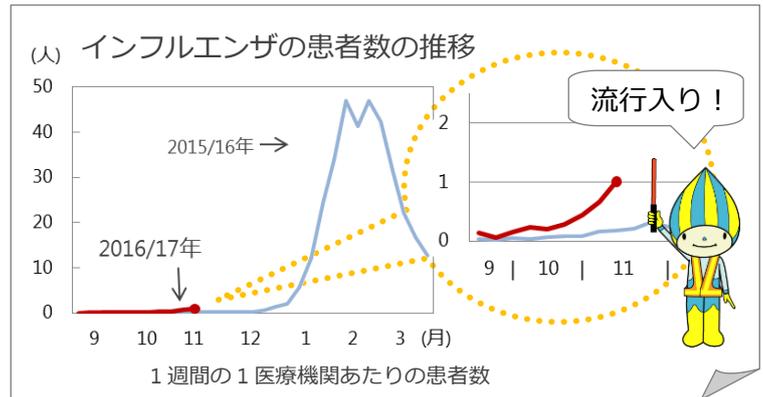
インフルエンザが県内で流行シーズンに入りました！

県内のインフルエンザ患者数が、11/14～20の1週間で、流行入りの目安とされる「1医療機関あたり1人」を超えました。本格的な流行に備え、予防対策をしましょう。

どんな病気？

インフルエンザウイルスによる感染症です。

38℃以上の発熱、咳、のどの痛み、頭痛、関節の痛み、体のだるさなどが急にあらわれ、風邪よりも全身症状が強いのが特徴です。



お子さんでは、まれに急性脳症を、高齢の方や持病のある方では、肺炎を起こすなど、重い症状となることがあります。

どうやってうつるの？ 予防方法は？

感染している人の咳やくしゃみのしぶきによる**飛沫感染**や、ウイルスの付いた手指などを介した**接触感染**によってうつります。予防のためには、手洗いや咳エチケットなど、一人ひとりの心がけが大切です。

かからないために

- 外出後は**手洗い**を徹底する
アルコール製剤による消毒も効果があります
- **栄養と睡眠**を十分にとる
- 部屋の中は**適度な湿度**を保つ
- なるべく**人ごみ**を避け、やむを得ず外出する場合は**マスク**を着ける
- 流行前の**ワクチン接種**
予防接種は、インフルエンザの症状が重くなるのを防ぐ効果もあります



ほかの人にうつさないために

- 熱や咳などの症状がでたら**早めに受診**する
- インフルエンザと診断されたら**安静にして休養**する
- 咳が出るときは**マスク**を着用し、**咳エチケット**を守る



重症になりやすい方



高齢の方、妊娠中の方、小さいお子さん、呼吸器や心臓などに持病のある方などは、早めの受診を心がけましょう



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

